

【公聴会経過報告】

以下の経過報告において略記・略称を用いさせていただきます。

Q: 質問、A: 回答、S: 意見、提: 議案提出者の発言

※本報告書は聞き間違いや解釈の違いがある可能性がございます。議案提出者及び関係者の方は資料を読む時間内に確認をお願いします。

■令和7年度決算報告

《10/9 公聴会》

- Q: 議案の「3.本文」の(3)支出決算において新入生歓迎実行委員会の決算額が本予算額を上回っており、赤字となっています。この赤字はどこから補填をしているのでしょうか。
- 提: 令和7年度決算報告の「6.3 新入生歓迎実行委員会」を見ると、収入のほうが出費よりも多くなっています。確かに、議案に書かれている本予算額よりも支出は増えましたが、収入が増えた支出を上回っています。これは、新入生歓迎実行委員会が独自に集めたサークル徴収費等によって補填しているためです。よって、実質的に赤字は無く、問題はないという解釈をしています。
- Q: 議案の「3.本文」に(1)決算概要(2)収入決算(3)支出決算の表がありますが、これは有効決議録をすべて満たしたものとして提出したのだと思います。しかし、有効決議録の「『本会の予算及び決算の原則に関する決議』修正案」の第7項で「本予算・前年度繰越額・収入決算・支出決算・総収入額、総支出額及び次年度繰越額」についての記載をすることが規定されています。一部満たしていないのではないのでしょうか。
- 提: 本予算は議案書に、前年度繰越額は前年度繰越金として書いています。収入決算は「3.本文」の(2)に、支出決算は(3)に、総収入額、総支出額及び次年度繰越額については(1)決算概要に別名で載っています。名称が異なることに関しては、申し訳ありません。後ほど修正させていただきます。

《10/14 公聴会》(今回の公聴会では議案出席者代理の方が出席しました。)

Q: サークル代表者会議の決算における扱い方についての質問です。議案の「4.経緯」の最後に「会計委員会において各機関および準機関の決算を取りまとめ、本議案を作成した」とありますが、令和7年度決算報告では、サークル代表者会議を機関として扱われていると思います。サークル代表者会議を機関として扱っているのか、準機関として扱う意思があるのか教えてください。

提: 準機関として扱う意思があります。加えて準機関も機関の一部であると考え、今のような表記をしています。

Q: 令和7年度決算報告の「5.3 不明金及び使途不明金」において、不明金が調布祭実行委員会のみ計上されています。しかし、「6.2 会計委員会」で収入の不明金として4530円計上されており、こちらの備考として「手数料」と記載されています。収入として手数料があり、かつこの手数料は不明金であるという形で扱われているのだと思います。不明金であれば「5.3 不明金及び使途不明金」に加えるべきだと思いますがどう考えますか。

提: こちらの手数料については、各サークルや委員会にお金を振り込むときに発生しているものです。実際に振り込まれている金額に加えて手数料がかかっています。よってこれが収入であるかどうかという解釈の余地があります。しかし、額を把握しているので不明金ではないと考えています。よって、今のような形で記載するのではなく、他の出費の欄に適切に記載するべきだと考えています。

Q: 令和7年度決算報告の「6.2 会計委員会」の利息についてです。他の委員会は利息がついているにも関わらず、会計委員会の利息は0円となっています。会計委員会は学友会の口座を管理していると思いますが、その口座でついた利息はどのように計上していますか。

提: 利息については、実際に発生していると考えています。よって、「6.2 会計委員会」の欄に記載されていないのは誤りであると考えられます。しかし、今現在確認できる資料が手元にないため持ち帰り、適切に処理または議案修正していきたいと思います。

Q: 議案で有効決議録の「『本会の予算及び決算の原則に関する決議』修正案」に則った決算を行い、令和7年度決算報告でその内容をより分かりやすく提示していると思います。しかし、有効決議録では、本予算を決算に計上する必要がありますが、議案の「3. 本文」では本予算としてまとめられていないと思います。前回は、決算概要・収入決算・支出決算のそれぞれに本予算が記載されているため、有効決議録を満たしているとの回答でした。一方で、印刷機積立金など、本予算には計上されているものの、議案には記載されていない項目もあります。そこで、本予算の内容を議案にまとめて記載する形に改める意思はあるのかお聞きしたいです。

- 提： 有効決議録に基づくそのような項目が必要であることは認識しております。その上で、議案にどこまで記載するかは私の独断では判断することができません。よって会計委員会のほうに持ち帰り、もう一度適切に議案を修正しようと思います。それにおきまして、有効決議録を満たした議案及び令和 7 年度決算報告を提出できたら良いと思います。
- Q： 先ほど、準機関も機関として考えるとの発言がありましたが、議案の「3.本文」の (3)支出決算 の中でサークル代表者会議を準機関として分ける理由を教えてください。
- 提： 予定議案書のほうでは、可能な限り有効決議録や会則に準ずる方針で表記していると認識しています。そのため、令和 7 年度決算報告では分かりやすさを優先して準機関と機関を同じ括りとしています。しかし、有効決議録及び学友会会則への準拠の観点から、議案ではより分かりやすく有効決議録及び会則に準拠していることを示すものとして表記していると認識しています。

《10/19 公聴会》

- Q： 議案の「3.本文」の (2)収入決算 の雑収益の欄に金額の記載があると思いますが、令和 7 年度決算報告の「2.収入決算」では雑収益金がすべて 0 円として計算されています。どちらが正しいのでしょうか。
- 提： 議案に記載している雑収益は新入生歓迎実行委員会や調布祭実行委員会、群青編集委員会などの各機関が収入として得た金額を雑収益、ひいては各機関収入合計として計上しています。こちらが令和 7 年度決算報告の「2.収入決算」に入っていない理由について説明します。令和 7 年度決算報告の「2.収入決算」の方では学友会に直接入った金額のみを計上しています。一方、議案では学友会に直接入った収入に加えて、各機関が独自に得た収入も計上しています。そのため、両者の計上額に違いが生じています。ただ、令和 7 年度決算報告の「6.各機関・準機関別決算内訳」を見ると、学友会振込金以外の収入が発生している団体があることが分かります。こちらを合計していただくと、議案の各機関収入合計に一致するようになっています。
- Q： 前回の公聴会では代理の方が出席されていたと思いますが、その時に挙げた内容はまだ修正されていないということで良いですか。
- 提： まだ修正は終わっていません。前回出た修正事案の 1 つとして会計委員会の利息についての議論がありました。こちらは今調査中で少し遅れている状態です。その他様々な会則や有効決議録に則った修正をした方が良いという意見も承っていますが、まだ協議中となっており修正に時間がかかっている状態です。しかし、総会までにはすべてを明らかにする、もしくは結論付けてから修正をし、改めて提出をするのでそちらの方でよろしくお願いします。

- Q: 議案の「3.本文」の(1)決算概要と令和7年度決算報告の「1.決算概要」では、それぞれの値が違いますが、これは分かりやすさを重視したためだと思います。令和7年度決算報告の方では、全5項目ありますが、最も大切なのは前年度繰越金と次年度繰越金だと思います。次年度繰越金を他の項目の値を用いて計算したところ、値が合わないようになっていると思いますが、説明をお願いします。
- 提: 原本のExcel上では前年度繰越金＋総収入－総支出という処理を行っています。記載されている金額で間違いはないはずですが、もう一度計算してみます。今すぐこちらで回答はできませんが、もし間違いがあれば総会までに議案修正を行いたいと思います。
- Q: 先ほどの質問の続きですが、総内部留保額を次年度繰越金の計算に使っていないということと合っていると思います。総内部留保額が総収入と総支出の差額なのでそちらが計算に含まれていないということによろしいでしょうか。
- 提: 確かにExcel上では総内部留保額を入れていません。しかし、総内部留保額は総収入－総支出として算出しています。ということは実質的に前年度繰越金＋総内部留保額＝次年度繰越金となります。よって、間接的に総内部留保額を使っているという形になっています。また、改めてここで手計算をしたところ、今述べた式で計算した場合は次年度繰越金などの金額は合っていると思います。
- Q: 先ほどは私の計算ミスでご迷惑をおかけしました。もう一点、決算概要についての質問です。議案内の項目名と令和7年度決算報告内の項目名についてですが、有効決議録等に反しないよう分かりやすくするために名称を変えているのだと思います。しかし、金額が全く同じものに関しては同じ名称を使っても良いと思いますが、どう考えていますか。
- 提: 令和7年度決算報告において、「金」を語尾に用いているのは作成の好みの問題です。会計委員会内でも「額」のほうが良いという意見が出ました。しかし、「額」を用いると不自然な言い回しになる箇所があったので、「金」を使いました。しかし、統一したほうが分かりやすいという意見も十分賛同できるので改めて会計委員会で検討し、修正するのであれば修正していきたいと思います。
- Q: 前回の公聴会経過報告によると代理の方が出席されているようですが、会計委員会の利息が0円の件について、「実際に発生していると考えています」と述べられています。おそらく会計委員会は学友会員のお金を振り込んでいただく影響で、振替口座を利用しているのだと思います。ゆうちょ銀行のほうでは、振替口座では利子が付かないので利息は0円でいいと思います。もし、他の機関が持っているような総合口座を持っているのであれば、利息が付くのでそこは計算に入れる必要があると思います。総合口座はお持ちですか。

- 提： 学友会の口座が大本にあり、それは振替口座となっています。会計委員会はまた別に口座を持っています。したがって他の委員会と同様に、学友会の口座から会計委員会の口座に振替を行いました。会計委員会の口座が振替口座か総合口座かはまだ調査中なので0円かどうかについては今はお答えできません。
- S： 令和7年度決算報告の中で「本年度」と「当年度」は入り混じって記載されています。特に最後のページの「9.用語集」では「当年度」が多用されていると思います。「本年度」に統一された方が良いと思います。
- Q： 令和7年度決算報告の「6.各機関・準機関別決算内訳」において、各機関の収入と支出は「予算額」と記載されています。一方「1.決算概要」などほかの部分では「本予算額」と記載されています。意図的に変えているのであれば理由を教えてください。
- 提： 正しくは「本予算額」です。こちらは語句の乱れなので次回の総会までに修正します。
- S： 議案の「4.経緯」で「第73回学友会総会において『令和7年度予算最終案』が承認され、同予算に基づき令和7年度の会計を執行した」と記載があります。有効決議録に基づく、予算案が承認されると本会の本予算に当たることが成立したとみなされると考えます。そのため、同予算ではなく本予算と書いたほうが良いと思います。同じく予算案のほうでも本予算と同予算の表記揺れがあると思うので統一していただくようお願いします。
- Q： 令和7年度決算報告の「8.耐久消費財」に関して調布祭実行委員会が2013年の7月と8月に同一のプリンタを全く同じ金額で買っていると思います。1か月単位で2個買うことはあるのでしょうか。何か調査等されていますか。
- 提： 当時の状況は把握が難しい状態にあります。今から調査しても判明することがない可能性が高いです。現在の状況においては調布祭実行委員会や各委員会にリストに載っているものがあるかどうかの調査をしていただきました。その結果あると判断されたものをリストとして保有しています。番号等は我々が振っているので表記ミスではないと思われます。よって実際にプリンタが2台あるのだらうと考えられます。ただ、確かに不自然な点ではあるので改めて調査したいと思います。
- S： 議案の「3.本文」の(3)支出決算における調布祭実行委員会とサークル援助金の差額の最後に余分なスペースがあると思うので、消したほうが見やすくなると思います。

■ 令和8年度予算修正案

《10/9 公聴会》

- 提： 決算報告の際に指摘されたように、議案の「3.本文」の(1)において、有効決議録とは異なる名称で記載している部分があります。後ほど修正したいと思います。

- Q: 議案の支出予算には「サークル代表者会議」の項目があり、修正予算額、予算額及び差額が記載されています。備考欄には「サークル援助金」と記されていますので、その1つ下の「サークル援助金」の項目に記載されるはずのものだと思うのですがどうでしょうか。
- 提: ご指摘ありがとうございます。後ほど修正させていただきます。
- Q: 議案は、有効決議録の「本会の予算及び決算の原則に関する決議」修正案の第6項に記載のある本会の予算の計上すべき項目をすべて満たすように記載されたと思いますが、内部留保予算が含まれていないように思います。記載するべきなのではないでしょうか。
- 提: 有効決議録に則って作成しているので、内部留保予算を記載するべきでした。後ほど追加しておきます。それに伴い、ご指摘のあった通り、有効決議録にある前年度仮決算報告についても、記載するかを後ほど検討します。
- Q: 議案の「3.本文」にある (4)主な修正内容 の部分で、内部留保予算の予備費が前回総会で提出されたものよりも増額されているので理由の記載をすべきだと思います。ここで増額した理由を教えてください。
- 提: 予備費を200万円から500万円に増額した理由について説明します。主な理由は耐久消費財です。耐久消費財に関して、現在保持しているものが壊れた場合、学友会が円滑に運営を進めることができません。使用している耐久消費財の費用を踏まえ、買い直したり、修理したりできるように増額いたしました。また、予備費は不測の事態に備える面もあります。例えば調布祭や新入生歓迎会で大きな損失が出た際に前回総会で提出された金額だと十分ではないという意見を多くの方からいただいたので、増額しました。
- 《10/14 公聴会》(今回の公聴会では議案出席者代理の方が出席しました。)
- Q: 令和8年度予算修正案の「8.各機関別予算内訳」についてです。各機関とサークル代表者会議において、支出予算の備考の部分に用途が書かれていると思います。前年度の予算案では用途ではなく詳細として書くことにより、用途を備考に書いているものに限るという意図があったのだと思います。今年度に関しても、備考に書かれているもののみに支出がされると考えても良いですか。
- 提: あくまで、科目名に該当するものは備考のもの以外でも支出ができると考えています。
- Q: 科目名に該当するかを判断するのは、各機関ではなく会計委員会だと考えて良いですか。
- 提: 最終的に判断するのは会計委員会の決算担当だと認識しています。一方、決算を報告するのは各委員会になっているので、その段階では各委員会が判断しているものと考えています。また、会計委員会は決算担当が判断をしていますが、詳細についての理解は各委員会とは違うので、厳密にどの程度判断しているのかについてはお答えいたしかねます。

- Q: 令和 8 年度予算案で計上していたサークル援助金繰越分をすべてサークル援助金の総額に加えていると見受けられます。これはサークル援助金に関する内部留保を発生させないような処置だということですか。
- 提: サークル援助金繰越分については、内部留保を発生させない意図というよりは、本来払うべきだったサークル援助金を次年度に繰り越すためです。
- S: 例年秋の総会に提出される予算修正案と春に提出される予算案では性質が大きく異なります。春の総会で提出される予算案は本予算を定義するものであるため、すべての項目が有効決議録に則る必要があると思います。しかし、秋の総会で提出される予算修正案は、有効決議録に則らなくとも修正点をすべて記載しておけば問題ないと思います。そのため、現在の秋の予算修正案の形式のまま来年の春の総会で予算案を提出すると、有効決議録に反する点が出てくる可能性がありますので、その点お気を付けください。
- 提: 先ほどの発言者の方に意見です。代理としての立場の性質上、ここでの具体的な断定を持った回答は差し控えさせていただきます。一方で会計委員会に持ち帰り、しっかりと協議を行ったうえで予算担当や決算担当、委員長と会則や有効決議録等を精査して適切な形で提出できるようにしていきたいと思います。

《10/19 公聴会》

- S: 令和8年度予算修正案の「7.2.3.積立基本計画」の計画期間について決算書を見る限りおそらく単位の記載が漏れていると思うので、総会までに修正すべきだと思います。
- Q: 議案内の内部留保についての質問です。「3.本文」の(1)予算概要における総内部留保額と(4)内部留保予算を見比べると、内部留保予算の総額と総内部留保額が一致していません。これは内部留保予算をそれぞれ計上したうえでの総額と、有効決議録の『本会の予算及び決算の原則に関する決議』修正案における総内部留保額の記載とが合致しなかったという理解で良いですか。
- 提: まず議案の「3.本文」の(1)予算概要に記載した総内部留保額に関しては総収入額と総支出額の差額となっています。一方(4)内部留保予算に関しては有効決議録の『本会の予算及び決算の原則に関する決議』修正案の 6.4)本会が該当会計年度中に支出を行わない予定の予算項目は、全て内部留保予算に計上しなければならない という部分をもとにしています。こちらの金額が違う件に関しては有効決議録の『本会の予算及び決算の原則に関する決議』修正案の 6.6)本会の総収入額は総支出額と総内部留保額を足した額に一致しなければならない に従うと議案の「3.本文」(1)予算概要 のような形になります。一方先ほどの 6.4) に合わせると「3.本文」(1)予算概要 における総内部留保額は誤っていることになります。よって総内部留保額と内部留保予算は別物だと考えていただくのが最も分かりやすいと思います。そのようにお願いします。

- Q: 有効決議録に総内部留保額についての記載があり、総内部留保予算に次年度繰越額が含まれるべきであるにも関わらず、次年度繰越額が総内部留保額を参照しているという不可解な再帰性によって破綻していると解釈しました。ここで提案なのですが議案の「3.本文」の(4)内部留保予算の中に総内部留保額に合わせるような項目を付け足すのはどうでしょうか。
- 提: 非常にありがたく、提案の通りにしたほうが見やすいと思います。しかし、内部留保予算については有効決議録の「『本会の予算及び決算の原則に関する決議』修正案」の6.4)本会が該当会計年度中に支出を行わない予定の予算項目は、全て内部留保予算に計上しなければならないということと6.5)本会は予備費の項目を内部留保予算に置くことが出来るということが記載されているので、現在のような形になっています。新たな項目を増やすのも良いですが検討の時間が欲しいです。有効決議録や会則にできる限り沿った形にしたいので持ち帰らせていただきます。

■ ラグビー部 学友会公認取り消し議案

《10/9 公聴会》

質問・意見等はありませんでした。

※本議案は撤回されました。

■ UEComic!準備会学友会公認願い

《10/9 公聴会》

- Q: 前回の総会で学友会準公認が認められた後、調布祭でイベントを行ったと思います。どのくらいの人が参加したのか、どのくらいの団体が参加したのかを教えてください。
- 提: 2つのイベントを開催しました。調布祭で開催した「UEComic! 9」には3日間で18団体のサークルが参加し、来場者数は970人以上だったと記憶しています。「新歓 UEComic!2026」では、10団体ほどのサークルが参加しました。来場者数は、次回の公聴会までに確認ができれば報告します。
- Q: 議案の「5.活動実績」にある「2025年6月第1回総会の開催」の備考欄に「予算案を可決」と書かれています。その後の経過について書かれていないので、教えてください。
- 提: 議案に記載はしていませんが、第2回総会の際に次年度の予算案について議論したものと記憶しています。議案修正にて備考欄に追記したものを後日提出します。

《10/14 公聴会》

質問・意見等はありませんでした。

《10/19 公聴会》

質問・意見等はありませんでした。

■ UEC-TRPG 同好会学友会公認願い

《10/9 公聴会》

Q: 議案の「2.提出理由」に「会員」と記載されていますが「サークル会員」のことを指すのでしょうか。それとも、「学友会員」のことを指すのでしょうか。

提: UEC-TRPG 同好会構成員を指しています。

《10/14 公聴会》

質問・意見等はありませんでした。

《10/19 公聴会》

Q: 議案の「6.これからの活動計画」に「将来的には、他大学のTRPGサークルとの交流を目指す」との記載がありますが、現時点でどのような交流をしたいと考えていますか。

提: 主に学内だけでのTRPGのやり取りだけでなく、他の大学が作っているTRPG作品のシナリオを体験させていただいたり、本団体が作っているTRPG作品のシナリオを経験していただいたりすることを考えています。

Q: 学友会準公認の承認を得てから公認願いを提出する間に交流のために何か行ったことなどがあれば教えて下さい。

提: 去年学友会準公認を受けてから今年は1年生が多く入りました。しかし、その頃にはあまり大きな活動ができていなかったため、他大学との交流は特に取っていません。

Q: 先ほどの回答では、学友会準公認を得てから交流のために行動したことは特にないという事でした。しかし今後他大学と交流していくにあたって、シナリオの作成や他大学のTRPGサークルとのコンタクトなど具体的な行動をしていますか。

提: 自作のシナリオ自体は毎年有志の方が書いており、部内に多くあるので間に合っています。しかし、他大学の交流に関してはまだ取っていません。

■ UNL:OCK 学友会公認願い

《10/9 公聴会》

S: 議案の「6.これからの活動計画」にある「公園」は「公演」のことを指していると思われます。修正すべきだと考えます。

《10/14 公聴会》

質問・意見等はありませんでした。

《10/19 公聴会》

Q: 議案ではなく、UECircleに記載されているサークルへの加入方法についての質問です。「UNL:OCKのホームページにある入部フォームに必要事項を記入し送信することでディスコードサーバーへの招待リンクがもらえます！サーバー内で自己紹介をすることでメンバーとなります！」と記載されていますが、自己紹介が割と曖昧な基準だと思います。構成員を把握するうえで支障はないのでしょうか。

提: フォームの時点で所属している大学・学年・学籍番号等、個人情報分かるものを入力してもらいます。さらにサーバーに入ってもらい、自己紹介をしてもらいます。それらの内容が一致した場合にメンバーというロールが割り振られる形にしています。よって、フォームの入力内容が不適切であったり、自己紹介と一致しなかったりする場合はメンバーとしない方針で運営しています。

Q: 議案の「2.提出理由」の最後の文に「学内外に謎解きの楽しさを広げるため」とありますが「6.これからの活動計画」に記載があるもの以外で特別何かを行う予定はありますか。

提: 基本的には、「6.これからの活動計画」に記載している活動を行っていこうと考えています。ここでの「謎解き公演」とは、調布祭以外にも来年度の開催は未定ですが謎キャンなどの外部の出店イベントがある際は、そこに向けて製作した公演を公開していきたいと考えています。

■ SF 研究会学友会公認願い

《10/9 公聴会》

提: 議案の修正をこの場で行うことはできますか。

A: 公聴会の場においては、議案修正を行うことはできません。後ほど執行委員会にメールをしていただき、後日修正をする必要があります。

- S: 現在、サークル棟の部室が満杯となっているので、「SF研究会」に限らず学友会公認願いを提出されている団体は、B棟ロッカーの使用など、別の物品の管理方法を検討していただけると幸いです。
- Q: 議案の「5.活動実績」に最近の活動が記載されていませんが、オンライン上での活動は活発に行われているのでしょうか。
- 提: 直近では、オンライン上での活動が活発に行われています。部員間での SF 作品に対する感想共有のほか、各自での執筆活動などを行っています。
- Q: 議案の「4.活動内容」で他大学との交流や「日本SF大会」等のイベントに参加していると記載されています。一方で「5.活動実績」では、「日本SF大会」に1回参加しただけとなっています。「日本SF大会」をはじめ、そもそものイベントの開催が少ないのか、貴団体が定期的に参加していないだけなのかを教えてください。
- 提: 「日本SF大会」は年1回開催されています。2025年8月は東京都大田区蒲田にて開催され、参加しました。2026年7月には大分県で開催されていたので、部員の都合により参加できませんでした。2027年と2028年は東京での開催が予定されています。特に2027年に関しては8月末に開催されるので、こちらは参加したいと考えています。

《10/14 公聴会》

- S: 議案の「3.構成員」の名簿に、空白となっている行があるので修正したほうが良いと思います。

《10/19 公聴会》

- 提: 議案の「3.構成員」の名簿の空白部分ですが、本日学友会室で訂正しました。よって総会で配布される資料では訂正されていると思います。

■ UEC ランニングサークル2学友会準公認願い

《10/9 公聴会》

- Q: 議案の「3.構成員」を見ると、代表の人が会計を掛け持ちしているようですが、それはなぜですか。
- 提: 前回の総会で意見が出たので、会計の役職を立ち上げることになりました。その際に話がまとまらず代表が会計を兼任することになり、その状態が現在も続いているためです。
- Q: 今後、会計担当が別の人に代わるという認識で良いですか。
- 提: 現時点では部費を徴収する機会がなく、会計の仕事も少ないため、会計という役職が話題に上がることがありませんでした。これから活動していくことで会計担当の人が代わるかもしれません。

- Q: 議案の「4.活動内容」に週1回の定期活動を行っていることが記載されていますが、具体的にどのくらいの人数が参加していますか。
- 提: 6人ほど集まることが多いです。
- Q: 議案の「4.活動内容」において、「マラソン大会への出場に挑戦している。」と記載されていますが、「5.活動実績」では2025年11月の「ひたちシーサイドマラソン」のみの参加となっています。今後のマラソン大会への出場は考えていますか。
- 提: 2026年11月に「京王駅伝フェスティバル」、2027年1月に「調布市市民駅伝競走大会」に出場する予定です。「京王駅伝フェスティバル」に関しては参加の申請をすでに提出していると思います。
- S: 先ほどの会計に対して、会計の透明性を担保すること、他の学友会公認願いを提出した団体の議案書を参考にしたうえで会計と代表は別の人にするべきだと考えます。
- Q: サークル名が UEC ランニングサークル2となっていますが、「2」である理由を教えてください。
- 提: 過去にランニングサークルが存在したと聞いたので、「2」にしたという認識です。
- Q: 前ランニングサークルの人との交流はありますか。
- 提: 現在、前ランニングサークルとの交流はありません。
- Q: 第74回学友会総会公聴会経過報告において、学友会準公認を目指す理由の1つとして、「インカレサークルとして活動するため、知名度を獲得したい。そのために、学友会準公認を獲得したい」という旨の記録がありました。現段階で、他大学の学生の構成員はいますか。
- 提: 他大学の構成員は所属していません。

《10/14 公聴会》

- Q: 前回総会でも学友会準公認願いを提出されていて、安全面での懸念が指摘されていました。前回総会を経て具体的にどのような改善を行ったのかを教えてください。
- 提: 前回総会で指摘していただいた後、ガイドラインを作成して対応しました。具体的には、ランニングの際に救急医療ポーチを携帯するとともに、ランニングの前に天候等を確認し、気象庁が発表する熱中症警戒アラートに注意した上で、決行の可否を決定するなどの対策を行うようにしました。
- Q: 前回総会で部員の活動頻度の把握の仕方について質問されていた際、「Google Forms等を設けて、判断していきたい」と述べられていましたが、現在はどうな判断基準になっていますか。
- 提: 前回総会を踏まえて Forms を作成し、学籍番号や氏名などを入力してもらうことでサークル会員を把握しています。

- Q: 議案の「3.構成員」にある会計という役職ですが、第一回公聴会から議案を修正し、代表の人が会計を兼任しないようになったと思います。その結果、1年生が会計を担っていますが、会計を1年生の人に任せるという決断に至った理由を教えてください
- 提: 第一回公聴会で意見をいただいた後、幹部間で会計を決めるための話し合いを行いました。現在2年生で役職についておらず、手が空いている人がいませんでした。また、世代交代という観点から3年生ではないと判断しました。精力的に活動していて会計を快く引き受けてくれる1年生のサークル会員がいたので、その方に会計を任せることになりました。
- Q: 先ほどの回答で、3年生の方がそろそろ引退し代替わりだという旨を述べられていましたが、代表や副代表の方も2年生に引き継ぎ、実質的に3年生は OB や OG のような存在になるという認識で良いですか。
- 提: 代表と副代表の代替わりに関しては、11月から12月頃に行うという話になっています。その後3年生は OB や OG になっていくという形です。
- Q: 代替わりが11月頃に行われる予定と述べられていましたが、現在1年生と2年生の合計が3年生と同じ人数となっています。また、企画に2名の2年生が在籍しており、会計の業務を行うにも精一杯である旨を述べられていました。現状、引継業務などが滞りなく行えそうなのかを教えてください。
- 提: 1年生に会計をお願いしたのは、2年生に役職があり、忙しかったからです。将来的に会計が忙しくなることはありますが、大会に出るのも12月の話なので、現段階だと非常に忙しいわけではありません。よって、代替わりは問題なく行えると思います。また、代替わりについては、現在企画の2年生2名を代表や副代表にし、1年生に企画に就いてもらいます。代表と副代表がそれを補助していくことにより行おうと考えています。

《10/19 公聴会》

- Q: 議案の「2.提出理由」で「学友会準公認という明確な立場を得ることで、新たな企画やイベントの実施など、サークルとして取り組める活動の幅を広げられる」との記載があると思いますが、現状どのようなことを行おうと考えていますか。
- 提: まだ現段階では新たな活動を考えてはいませんが、学友会準公認という大学から正式な承認を得たサークルとしてよりマラソンなどの参加がしやすくなると考え、その点でそのような記載をしました。
- Q: 第74回学友会総会の第二回公聴会において、以前存在したランニングサークルの解散の理由等を調査したほうが今後の活動のためにも良いという意見があったと思いますが、その後何か調査等を行ったのでしょうか。
- 提: Web 上で検索や聞き込み等しましたが、解散理由等を知ることができませんでした。
- Q: 先ほどの回答から、サークル側主催で何か新たな企画やイベントの実施を行う予定はないという認識で良いですか。

- 提： 現段階ではマラソン大会を主催する等の企画持ち上げの予定はありません。しかし、活動を進めていくうえでそのような話が挙がる可能性はあると考えています。
- Q： 議案の「6.これからの活動計画」の中に「今後は大学公認団体への昇格を目指すとともに」との記載がありますが、学友会公認願いは提出しないという認識で良いですか。
- 提： 学友会公認のつもりでしたが、大学公認と記載してしまっていたので、後で修正しておきます。
- Q： 前回の公聴会経過報告等で確認したところ、3 年生以上の構成員が引継ぎ等で代替わりをする際に、OB や OG になっていくそうです。学友会準公認及び学友会公認を得るために学友会員は最低 5 人必要ですが、現在学域 2 年生以下の構成員のうち、学友会員の人数が 4 人となっています。今後どのように学友会員の確保を進めていきますか。
- 提： 学友会準公認になることができれば、学内での勧誘が可能になってくるので、ビラ配り以外にも積極的に勧誘を行い学友会員の確保に努めていきたいと考えています。
- Q： 第 74 回学友会総会では当時の議案提出者の方の学友会準公認期間を学友会公認への準備期間として比較的軽視しているような発言が多く見られました。今回の議案提出者の方は、学友会準公認になることによって背負うべき責任についてどのように考えていますか。
- 提： 準とはいえ公認された団体なのでサークル会員を危険にさらさないように安全確保に努めるのはもちろん、積極的にマラソン大会等に出場して大学の名前を広げていきたいと考えています。

■ ポーカーサークル学友会準公認願い

《10/9 公聴会》

- Q： 議案の「5.活動実績」によると、2026年7月に「SPT (Student Poker Tour)」に参加したと記載されています。学外の大会だと思いますが、この活動において何らかの形で金銭の受け渡しがあったのかを教えてください。
- 提： 「SPT (Student Poker Tour)」で3位に入賞したことで、次回大会の参加権を受け取りましたが、金銭のやり取りはありませんでした。

《10/14 公聴会》

- Q： 議案の「2.提出理由」に「金銭を一切賭けない健全かつルールを遵守した環境でポーカーを楽しみ」と記載されていますが、参加者同士の私的な金銭賭博やトラブルを防ぐ取り組みを行っているのでしょうか。

- 提： 代表と副代表でポーカーサークルの規約を作り、金銭および価値のある物品を一切賭けないことを明記しています。また、規約を違反するような行為が発覚した場合は、該当するメンバーの活動停止と除名、サークル内部での調査と大学側への調査結果と事実関係の報告を行い、処分を受けるということを明記しています。この規約に則って対応していきたいと考えています。
- Q： いわゆるアミューズメントカジノ等の施設に行ったことがあるか、今後の活動予定として行く可能性があるかをお聞きしたいです。
- 提： 個人的に、自分の中で安全だと判断したアミューズメントカジノへは行ったことがあります。しかし、金銭のやり取りは一切ありませんし、これをサークルの公式な活動へ取り入れようという意思は全くございません。
- Q： 議案の「4.活動内容」に「週に1回程度構成員の自宅に集まり」と書かれていて、おそらく構成員の自宅で活動が行われていると思います。こちらではサークルの健全性や透明性が保たれていないと思います。この件に関してどう考えていますか。
- 提： 現状は学内での活動は控えているので、透明性が担保されていないという意見はもつともだと思います。しかし、これから学友会準公認を受けるにあたって学内の活動場所を確保できれば、周りの目が生まれてくるので、透明性が担保されていくのではないかと考えています。
- Q： アミューズメントカジノは、東京に200店舗程度あると認識しています。また、2025年の立ち入り検査では6割強が商品提供法違反等で摘発されているものと認識しています。実際に今後の活動ではアミューズメントカジノへの立ち入りは行わないという方針で間違いないでしょうか。
- 提： そのようなアミューズメントカジノへの出入りをサークル公式で行うことは全く計画していません。もし、十分安全だと判断した場合でも、法に触れるような危険性のある場所への出入りは一切しないことを約束します。
- Q： サークル規約への言及がありましたが、サークル会員へはどのくらいの周知を行っているのでしょうか。
- 提： 規約については、今回の学友会準公認を受けるにあたって本格的に作成したので、まだ作成してからの日が浅く、構成員への周知が行き届いていない現状があります。今後はしっかりと書面を使用しながら、部会などを開いて構成員への周知を行っていきたいと考えています。
- Q： 学内での活動は控えていると述べられていましたが、学外の施設などを借りての活動なども考えられると思います。こちらを行っていない理由を教えてください。
- 提： 学外の施設を使用しての活動は行っていません。ポーカー卓があつて、借りることのできる施設は実は多くなく、また借りた場合の金銭的な負担を考慮したためです。
- Q： 先ほど、参加者から金銭賭博などへの懸念が挙げられましたが、もし発生した場合の責任の取り方や罰則などは考えていますか。

- 提： もし、賭博行為が発覚した場合は、該当メンバーの活動停止と除名を行います。次に、どのようなことが行われていたか調査し、それをまとめた結果を大学側と学友会側に報告したいと思います。その後、大学と学友会側に対応の仕方を仰ぐことで対応していきたいと考えています。
- Q： サークルの規約について周知があまり行われていないと述べていましたが、総会までの2週間のうちに滞りなく周知を完了させ、安全な状態にすることは可能でしょうか。
- 提： 学友会準公認を受けるまでに規約を周知することは重要だと考えているので学友会総会までの 2 週間のうちに、できるだけ部会を開くことによって周知していきたいと考えています。
- Q： 学外での活動を行っていない理由として、ポーカー卓を借用できる場所が少ないと述べられていましたが、学友会準公認を得た後、学内でポーカー卓を借用する目途は立っているのでしょうか。
- 提： おそらく学内でポーカー卓はないと思われるので、教室の机を拝借し、ポーカー用のシートを敷くことで対応していきたいと考えています。
- S： 電気通信大学課外活動団体に関する要項で「大学の公認を受けた団体は、別に定める手続きを経て、本学の施設を使用することができ」と記載されているので、学友会準公認が取得できた場合も、まだ正式に団体として教室を借りることができません。何か他の方法を考えたほうが良いと思います。

《10/19 公聴会》

- Q： 議案の「4.活動内容」で「週に1回程度構成員の自宅に集まり」と記載されています。前回の公聴会で述べていたシートを使用することで、現在でも構成員の自宅で活動を行うのではなく、ある程度透明性を担保した活動を行えると考えます。なぜ現在、構成員の自宅での活動を行っているのでしょうか。
- 提： ポーカー卓を借りられる場所が少ないこと、金銭的な負担があることが理由です。例えば公共の多目的室などで活動するといった方法があったとは思いますが、選択肢として持っていませんでした。今回構成員の自宅以外での活動場所の例として、調査したところ 調布市文化会館 たづくり という場所の多目的室が使えるのではないかとということになりました。実際に行ってみて、ポーカーで使えるかどうかを詰めていきたいと考えています。
- Q： 議案で度々「健全」という言葉を用いていますが、貴団体では不健全なポーカーとはどのような事を指すのでしょうか。
- 提： 我々のサークルとしては、不健全なポーカーとは金銭賭博を伴うようなものやプレイ違反による喧嘩などの事だと考えています。今回の議案では健全なポーカーの定義が曖昧となってしまうので修正したいと思います。

■ 茶道部学友会準公認願い

《10/9 公聴会》

- Q: 議案の「2.提出理由」では、「現在は日々の活動の成果を出す機会が不足しているため、調布祭に参加することでそれを補いたい。」と記載されています。具体的にどのような活動を予定していますか。現時点で決まっていたら教えてください。
- 提: 教室展示でカフェを運営している団体があると思いますが、そのような形を考えています。電気通信大学内では、和室の数は限られているため、使用するのは現実的ではありません。お客様には椅子に座っていただき、お茶を提供することを考えています。
- Q: 議案の「3.構成員」において代表の人が会計を兼任していますが、それはなぜですか。
- 提: 現時点では、代表・会計の業務は兼任が困難なものではないからです。しかし、今後サークルの活動を広げる中で会計業務が重くなることも考えられます。そのため、今年度は兼任していますが、今後はほかの人に会計を引き継ぐことを考えています。
- S: 先ほど和室に関する話をされていたと思いますが、電気通信大学に勤務するある教授の研究室に行くと、和室の使用ができるかもしれないので、連絡してみると良いかもしれません。ぜひ行動してみてください。
- Q: 議案の「2.提出理由」には、「現在は日々の活動の成果を出す機会が不足しているため、調布祭に参加することでそれを補いたい。」と記載されています。調布祭には学友会公認を得ていない有志団体も参加できますが、本年度の教室展示や出店のリストを見ると、貴団体の名前は載っていないと思われます。本年度の調布祭への参加を見送った理由を教えてください。
- 提: 議案の「5.活動実績」を見てください。本団体は結成から少し日が浅く、練習を重ねてはいますが、今年はまだ調布祭に参加できるほど部員が育っていないと考えたからです。
- Q: 先ほど質問された方に質問です。今年の調布祭団体のリストはまだ公表されていないはずですが、どのようにして茶道部が調布祭に参加しないことを知ったのでしょうか。
- A: 別のサークルのほうで、調布祭参加団体を確認できる立場にいるためです。

《10/14 公聴会》

- Q: 議案の「6.これからの活動計画」に「現在行っている月1、2回の活動を継続する」と記載されていますが、今後活動の頻度を増やす予定はありますか。
- 提: 現在行っている月1、2回の活動の頻度を増やす予定はありません。
- Q: 茶道には流派が存在すると思いますが、どちらの流派で練習しているのか教えてください。
- 提: 表千家での活動をしています。今後変更することはないと思います。

- Q: 議案の「2.提出理由」に「現在は日々の活動の成果を出す機会が不足しているため、調布祭に参加することでそれを補いたい」と記載されています。今後日々の活動の成果を出す機会として、他大学との交流や学外のイベントへの参加等は考えていますか。
- 提: 他大学との交流については、学友会準公認取得前では信用が得られづらいと考え、明確な方針は決めていません。大学外へのイベントにつきましても同様の理由があります。また、団体として参加することは可能ですが、個人への金銭的負担が大きいため行っていません。
- Q: 表千家での活動を行っているということですが、どうして表千家を選ばれたのか理由を教えてください。
- 提: 代表である私が高校時代、表千家で茶道をしていたことと、議案の「5.活動実績」の備考に「茶道の先生をお呼びしてご指導いただいた」と記載したと思いますが、お呼びできる先生が表千家だったことが理由になります。
- Q: 大学外でのイベントの参加について、金銭的な負担を理由に参加していないと述べていましたが、部内で開催されている茶道および年度末に予定されている茶会については自費で行われているのでしょうか。
- 提: 普段の活動の際に利用している施設は数百円と少額であるため、個人個人が支払っているのではなく、部費として徴収したお金から出しています。
- Q: 議案の「6.これからの活動計画」で「近日中に今後の活動に関しての全体の説明会を行い、引継ぎに向けた次世代の育成を進める。」と記載されていますが、現時点でどのようなことが決定されていますか。
- 提: 現時点では、まだ説明内容は決まっていません。しかし、説明会を行うことの周知とDiscord 上での日程調整を行っています。
- Q: 茶道初心者の新規部員を獲得した際の道具の貸し出しや購入の案内等の対応はどのように行っていますか。
- 提: 道具を持っていない初心者の部員に対しては、道具の貸し出しを行っており、購入方法および金額の案内を行っています。

《10/19 公聴会》

- Q: 議案の「5.活動実績」の2026年9月11日の備考欄にのみ「茶道の先生をお呼びしてご指導いただいた」との記載があります。おそらく、他の活動日では茶道の先生をお呼びしていないと思いますが、茶道の先生をお呼びしていない活動日では、具体的にどのような活動を行っているのか教えてください。
- 提: その他の活動日に関しては、茶道の先生をお呼びしていません。部員同士で教え合ったり、主に私が教えたりして活動しています。

- Q: 先ほどの発言から部員内で教え合ったり、特定の部員が教えたりしていると思いますが、今後活動を継続していくにあたってそのような活動形態を維持するには技術的な引継ぎを十分に行う必要があると思います。月1、2回という活動頻度で引継ぎを十分に行うことはできるのでしょうか。
- 提: 確かに月1、2回の活動は少なく、その中で完全に覚えるというのは難しいと思います。しかし、部内で所持している表千家の茶道の本や、YouTubeやネットの動画の使用を推奨することによって部員自身で覚えてきてもらうことはできていると思っています。
- Q: 議案の「2.提出理由」に「使用する道具が多いため、保管するためのロッカーを申請したい」と記載されています。お茶を点てるための道具など、茶道として使用する道具があると思います。サークル代表者会議が所有しているロッカーなどを見ると、虫が湧くといった衛生的な問題があると思いますがどのように管理しようと考えていますか。
- 提: ロッカーの衛生についてはあまり把握できていない部分があると思います。現時点で家で保管している際には、道具を箱や袋などに入れて虫やほこりがつかないようにしています。また、お茶碗などの道具が湿ったりすることがありますが、それらは一度しっかりと乾かしてから保管しています。また、再度取り出して利用する際に、洗剤で洗って使うなどしています。木などで作られた道具はどうしても劣化する場合が多くあるので定期的に買い換えたいと考えています。

■ テニス同好会学友会準公認願い

《10/9 公聴会》

- Q: 議案の「2.提出理由」に「硬式テニスサークルの需要が高まっていることから、学生主体の新たな活動母体を設立したいと考えました。」と記載されていますが、すでに大学公認を受けている団体があるにもかかわらず、新たな団体を設立する利点を教えてください。
- 提: 既存のテニスサークルは土日だけに活動していると把握しています。平日に活動するテニスサークルを設立したいと考え、新たな団体を立ち上げました。
- Q: 活動実績があまりない中で議案提出を行った理由を教えてください。
- 提: 来年度4月の新入生歓迎会において、新入生やさまざまな類の学生を勧誘するために、学友会準公認願いを提出しました。
- Q: すでに存在している団体で、活動日数を増やすのではなく、新たな団体を設立した理由を教えてください。
- 提: サークルの会員や准教授との協議の結果、既存のサークルの風土や状況を考慮したうえで、別の団体を設立すべきだと考えたためです。

- Q: 先ほど「土日以外に活動しているテニスサークルはないと認識している」と回答していましたが、電気通信大学公認サークルに「ATT アドバンテージテニスチーム」というサークルがあり、ホームページには平日に活動していると書かれています。こちらについてはどのように考えていますか。
- 提: 把握していませんでした。持ち帰って検討したいと思います。
- Q: 議案の「4.活動内容」の最後の部分に「利用施設の定期的な清掃活動および安全・衛生管理の徹底」と記載されていますが、具体的にどのようなことを行っていますか。
- 提: 「4.活動内容」に記載されている「利用施設の定期的な清掃活動および安全・衛生管理の徹底」について、「清掃活動」は、コート使用後にブラシで清掃を行うことを意味しています。「安全・衛生管理」に関しては、多摩川グラウンドでは備え付けの救急箱を使用した処置を行っています。他の場所で活動する際には救急箱を持参して対応しています。
- S: 先ほどの「ATT アドバンテージテニスチーム」は、大学のホームページからは削除されていませんが、学友会総会にて学友会公認の取り消しが可決され、現在は活動していない団体だと思います。安心していただければと思います。
- Q: 来年度の新入生歓迎会で、すでに存在しているテニスサークルとどのように差別化を図り、新入生を獲得していこうと考えていますか。
- 提: 具体的なことは決めていませんが、学友会準公認サークルになることで、スムーズにビラ配りなどができるようになり、新入生獲得などにつながると考えています。

《10/14 公聴会》

- Q: 議案の「4.活動内容」に記載されている活動と、電気通信大学内の硬式庭球部の行っている活動が類似していますが、どのように差別化を図っていますか。
- 提: 部活との差別化については、部活は平日3日と土日1日の活動日で構成されていると認識しています。また、部に関しては土日も行かなくてはならないという多少の強制感があると考えます。我々のサークルに関しては、平日に数日、個人のスケジュールに沿って自由に参加していくという形をとろうと考えています。
- Q: 現在、硬式テニスを行っている大学公認の団体がいくつかあると存じていますが、現在そのような団体と何かつながりはありますか。
- 提: 現在、テニスを目的としている団体との交流はありません。
- Q: 他のテニス部やテニスサークルとの交流がないと述べていましたが、他の団体との風土が合わないことを理由に本議案を提出したと存じます。そのような風土は実際に交流してみないと分からないものだと思いますが、交流を行っていないにも関わらず議案を提出した理由を教えてください。
- 提: 交流とはサークルや部活との合同練習をするようなことだと認識していました。新入生歓迎会で他のテニスを行っている団体に伺い、話を聞くなどしたうえで、今回議案を提出させていただきました。

- Q: 貴団体は構成員のすべてが1年生で構成されていると思います。サークル運営について他のサークルの代表者等に話を聞くことでより良いサークル運営を行えると思います。この件に関してはどう考えていますか。
- 提: 私個人としては他のサークルや団体から運営に関して助言をいただこうと考えています。
- S: 他団体の代表者などにサークル運営の仕方などの助言をいただき、運営を確立してから議案を提出したほうが良いと思います。
- Q: 議案の「4.活動内容」に記載のある「部内戦」や「各種公式戦(学連主催大会等)への登録および出場」という内容が、議案の「5.活動実績」に記載されていません。現在「4.活動内容」のどれほどの活動が行われていますか。
- 提: 部内戦や各種公式戦への参加は今後行う予定です。議案の「5.活動実績」に「サークル結成」と「活動計画策定」しか記載がないのは間違いですので、後日修正します。
- S: 議案の「4.活動内容」に記載のある「部内戦」と「各種公式戦(学連主催大会等)への登録および出場」を「6.これからの活動計画」に記載することで、現在の実態にあった議案になると思います。
- Q: 議案の「6.これからの活動計画」に「週2〜3日の練習を実施」と記載がありますが、具体的に何曜日に活動するかなど決まっていれば教えてください。
- 提: 現在月曜日に行っており、今後は木曜日にも活動を行い、できれば金曜日にも行っていこうと考えています。
- Q: 議案の「6.これからの活動計画」に調布市営テニスコート等を使用する旨の記載がありますが、施設の利用料の資金源として、会費の徴収等は考えていますか。
- 提: その場に集まったメンバーでその都度折半を行っており、今後もその予定です。現在は部費等で徴収する予定はありません。
- Q: 既存のテニス団体との差別化を図るために、できれば平日毎日活動したいとの発言がありました。その後の発言では週に2、3回活動したいと言っていました。結局正しいのはどちらの発言でしょうか。
- 提: 毎日というのは間違いで、週2、3回の活動が正しいです。
- Q: 議案の「2.提出理由」に記載のある「平日の講義前後や空き時間を有効に活用」について、時間も併せて回答をお願いします。
- 提: 時間は4限終わりの16時半から18時です。理由は、この時間が多摩川グラウンドの私的利用ができる時間帯のためです。
- Q: 議案の「2.提出理由」に「本学において、平日の講義前後や空き時間を有効に活用して活動できる硬式テニスサークルの需要が高まっている」と記載があります。何かしらの調査を行ってこのような記載をしたのだと思いますが、調査の際の標本などを示していただきたいです。
- 提: 標本に関しては、周りの友人から集めたものなので母数は少なくなっています。
- Q: 平日の活動時間について、4限よりも前に活動することはないということで良いですか。

- 提： 多摩川グラウンドの個人利用時間を考慮し、月曜日、木曜日、金曜日の16時半以降の活動を行っていきます。
- S： 議案の「4.活動内容」と「5.活動実績」「6.これからの活動計画」に記載のある文言を統一したほうが良いと思います。また「6.これからの活動計画」については、フォーマットを他の議案に合わせたほうが良いと思います。

《10/19 公聴会》

- 提： 前回の公聴会でいただいた質問・意見に関して本公聴会までに議案修正をすることができませんでした。議案の「4.活動内容」に記載していたものを「6.これからの活動計画」に移動させること、活動時間や曜日の記載、用語の統一などは総会までに議案修正をします。

■公聴会を通じて

《10/9 公聴会》

- Q： 自分の氏名が間違えられているのですが、注意事項に書いてある発言時に氏名を述べることの理由と、表示システムに氏名を表示する意図は何ですか。
- A： 発言時に氏名を述べていただく理由は、今後の議事録作成及び同じ方が連続して発言した際に表示システムに表示し、議案提出者が議論の流れをわかりやすくするためです。
- S： 先ほどの話題に関連しますが、提出した予算案と決算報告に関しては情報理工学域の所属として発言したわけではなく、会計委員会委員長として発言しました。今後所属の表示を見直すことがあれば、表示の変更を検討いただきたいです。
- S： 前回総会の際に、「電気通信大学学友会執行委員会」や「学友会執行委員会」と表記が揺れているとの意見を述べましたが、今回の運営では全て訂正されていて見事だと感じました。最後に、会計委員長の方に意見を述べさせていただきたいです。議案書などの資料において、所属の欄に「会計委員会委員長」と記載されていますが、会則上は「会計委員長」になっているので修正すべきだと思います。

《10/14 公聴会》

- Q： 公聴会経過報告において、前回の公聴会の発言にあった教授の名前が記載されていません。公聴会経過報告には実名が出た際に記載しない方針があるということですか。
- A： 今回総会の公聴会経過報告では、個人情報や基本属性の対応につきまして、伏せるよう対応を取らせていただいております。

《10/19 公聴会》

質問・意見等はありませんでした。

公聴会経過報告は以上です。